

災害対策は「自助」から「共助」の時代へ

社会貢献型

# シェアする 防災セット

Shareable  
Emergency Kit

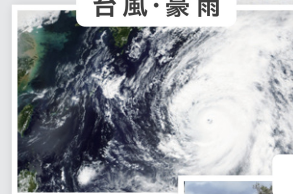
GOOD DESIGN AWARD 2022  
BEST 100



豪雪



台風・豪雨



地震



## 「防災をシェアする」という、考え方

最大30人分の防災用品が入った、「シェアする防災セット」。  
車やオフィス、店舗などに備えることで、  
従業員のためはもちろんのこと、  
周りの人々に防災用品を配付することができます。  
地震や豪雪などの災害や、不測の事態が起きた時に備え、  
企業としてできる社会貢献のひとつのカタチです。



## 企業防災に求められる社会貢献

内閣府の企業防災のページ<sup>1)</sup>によると

「企業は、従業員や顧客の安全を第一に防災活動に取り組まなければなりません。また、**地域の一員**として、被害の軽減及び**災害復旧・復興に貢献する**ことが求められています。」と示されています。

➡ 「サステナブルな社会の実現」のためにも、  
「**じぶん**」だけではなく「**だれか**」のことまで考えた対策が必要です。

1) 内閣府「企業防災のページ(内閣府防災担当)」防災情報のページ 2021. <https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/bousai/index.html> (参照 2022-07-20)

自分のための

自助



誰かと助け合う

共助

## 期待される効果

“自社の災害対策を行いながら、同時に社会貢献も実現”

- ☑ **災害対策と社会貢献**の両立
- ☑ 従業員の**社会貢献意識**の向上
- ☑ 備蓄マークを車輛や施設に貼ることによる**企業のイメージ向上**
- ☑ 誰一人取り残さない**サステナブルな社会**の実現

➡ **企業価値  
の向上**